



季節ごとに異なるテーマで多彩な展覧会を開始します！

新見美術館は、昭和 58 年に新見市出身の横内正弘氏（故人）が集めた富岡鉄斎の作品約 40 点をふくむ 350 点あまりの美術品の寄贈を受けたことをきっかけに、地域文化の向上を目指して平成 2 年 11 月 1 日に開催しました。

現在では、1100 点あまりの作品を所蔵しており、その中心となる文人画家・富岡鉄斎の作品約 80 点は高い評価を受けております。その他、スペインやアンデスを渡り歩いた洋画家・藤井哲の作品、新見庄に暮らしたたまがきという女性が京都・東寺にてたまがき書状など、近・現代の日本画、郷土ゆかりの洋画家や工芸家の作品などを収集展示し、1 年を通じてさまざまな展覧会を開催しています。

◆ 施設のおすすめ

新見美術館では四季折々にさまざまな展覧会やワークショップを企画しております。春はだれもが気軽に楽しめる親しみやすい展覧会、夏は子どもたちが見ているだけでわくわくするような展覧会、秋には本格的な芸術の美を学ぶ展覧会、冬は新見美術館の主な館藏品を中心とした展覧会をテーマに、それぞれ企画・開催しております。昨年開催したウルトラセブン店ではお父さんが子どもたちに解説し、子どもたちはお父さんの話を興味深く聞くといい、親子の団らんがたくさんみられました。

◆ 子どもたちへのメッセージ

新見美術館では、いろんな分野の作家たちが手がけた作品とのさまざまな出会いがたくさんあります。一人でも多くの子どもたちに喜びと学びを届け、みなさんが大人になっても行きたいと思ってもらえるような美術館を目指します。お父さん、お母さんと、一度だけでなくぜひ何度でも気軽にご来館ください。



てんじ 展示作品 1



しせつ がいがん 施設の外観

たまがき書状



てんじ 展示作品 1



てんじ 展示作品 2